

## 第2回湊小学校保護者説明会会議録

1. 日時 平成29年3月16日(木) 19:00開始

2. 会場 市民会館

3. 教育部参加者

岡根教育長、能城教育部長、今井学校教育課長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、須藤学校教育課主幹、鈴木教育センター主幹、三浦学校教育課指導主事、大畑教育センター指導主事、刈込教育総務課課長補佐、福原教育総務課主任主事

4. 保護者参加者 24名

5. 会議録

進行：鈴木教育センター主幹

発言者	発言内容
能城部長	1 開会の言葉
	2 出席者紹介
岡根教育長	3 教育委員会あいさつ
	4 天羽中学校校舎改築について
能城部長	<p>天羽中と富津中の校舎建設の検討につきましては、平成14年度におこなわれ、総合的に判断された中、富津中の改築を優先し実施されることとなり、平成19・20年度で富津中学校の改築がおこなわれました。</p> <p>そういった中、国は、平成7年1月に発生した阪神淡路大震災を受け、小中学校の耐震補強につきましては、平成20年6月に改正された地震防災対策特別措置法により、学校設置者に耐震診断の実施及び結果公表の義務付けがなされ、全ての小中学校の耐震補強を優先することとなり、天羽中学校の改築は先送りされ、市内小中学校の耐震補強工事は、平成25年度をもって全て完了したところでございます。</p> <p>その翌年、平成26年度に皆さんもご承知のこととは思いますが、財政破綻報道があり、その後市の経営改革を進める中、平成27年8月に出された中期収支見込に、教育環境の改善が急務であることから、やっと今まで先送りされていた天羽中学校の大規模改修、これは現在の校舎を利用して改修を行うものですが、その予算が計上されたところでございます。</p> <p>天羽中学校が大規模改修とされた経緯につきましては、平成26年に文部科学省から出されたインフラ長寿命化計画により、これまでの建て替え中心から長寿命化への転換による今ある建物を利用した改修方針に沿ったものでございます。</p> <p>そのような経緯から天羽中学校につきましては、当初現在の場所で大規模改修を予定しておりましたが、今年度実施いたしました、耐力度調査の結果、耐力度が基準値に達していない、これは大規模改修に適さない危険な状況と判断されたことから、今回、大規模改修ではなく改築、新しく建</p>

鶴岡課長	<p>で替える計画とされたところでございます。</p> <p>天羽中学校校舎の整備計画（案）について、ご説明申し上げます。</p> <p>天羽中学校校舎の整備については、既存敷地内での建て替え、既存校舎の大規模改修、移転新築について検討いたしました。</p> <p>1つ目は、既存の校舎2棟を解体し、現在の敷地内に新たに適正規模の校舎を建築する計画（案）です。</p> <p>この案では、設計から整備完了までの期間を3年間、概算事業費については、15億円程度と試算しました。</p> <p>2つ目は、既存校舎を大規模改修する計画（案）です。</p> <p>事業期間は3年間、概算事業費を12億円程度と試算しました。</p> <p>3つ目は、新たな場所へ移転し、新築する計画（案）です。</p> <p>この案では、移転先地の選定、用地買収、敷地の造成工事や校舎以外に体育館等の建築も必要になりますので、事業期間は7年以上、事業費は24億円以上と試算しました。移転、新築の場合の事業費については、移転する場所によって用地取得費や必要となる道路等インフラ整備などにより、事業費が更に増加することが予想されます。</p> <p>現在の用地内で校舎を整備する場合、説明会で保護者や地域の方からご指摘、ご要望があった道路や排水を併せて整備する必要があると考えています。</p> <p>3つの整備（案）については、事業期間、概算事業費、生徒の学習環境、建築後の維持管理費など総合的に検討した結果、既存校舎の大規模改修（案）が一番安価となりますが、既存校舎の構造躯体が経年劣化により耐久性が低下しているため、大規模改修する案については、望ましい計画と言えないと評価しました。</p> <p>移転、新築（案）については、移転先の選定や用地買収、造成工事、校舎以外に屋内運動場や武道場などの建築等、事業期間や費用が膨大になること、又、関連するインフラ整備が必要になる可能性もあることなどから、実現性が低く、望ましい計画とは言えないと評価しました。</p> <p>改築計画（案）については、既存校舎の大規模改修計画（案）に比べ概算事業費が3億円程度高くなること予想されますが、大規模改修に比べ、建築後の維持管理費の抑制が見込まれること、多様な学習環境に対応する機能も合わせて整備できることなどから、現在の敷地内で新たに適正規模の校舎を建築する（案）が最も望ましく、実現性の高い計画であると評価しました。</p> <p>改築の場合も国の補助金の活用が見込まれますので、少しでも市の持ち出しが少なくなるような事業メニューを検討していきます。</p> <p>改築（案）を進める場合は、平成29年度に基本・実施設計、地質調査を実施し、平成30年度に既存校舎の解体、平成30年度、31年度に改築工事を実施し、平成31年度末完成を目標とした計画になります。又、道路整備については、早期事業化に向け、進めて参ります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
鈴木主幹	<p>以上で説明が終わりましたが、何か質問やご意見ございますか。</p>
保護者	<p>中学生が湊小にはいるが、職員室とかはどうするのか。</p>
鶴岡課長	<p>職員室を整備していく。今後整備計画を立てていく。</p>
保護者	<p>空き教室はあるのか。足りないのではないのか。</p>

鶴岡課長	空き教室を利用すれば中学生教室は確保できる。職員室は今の図書室を考えている。
保護者	小学校の図書室をなくすのか。
今井課長	1階にあるミニ図書室に移動することを考えている。
保護者	天羽東中と一緒に勉強することはできないのか。
鶴岡課長	プレハブを建設すれば可能だが、金谷地区の生徒の登下校の負担などを考え、湊小での生活がよいと判断し、対応を考えている。
保護者	天羽中に移動して授業をやると聞いたが、どうやるのか。科目移動するのであれば天羽東中でも良いのでは。
今井課長	カリキュラム編成をしていく上で検討していく。部活は天羽中の施設を使用していくことも考えている。東中に行った場合、統合していないので、天羽中、東中それぞれがカリキュラム編成が必要となる。東中へのスクールバス、プレハブ建設などを考えると湊小がベターであると判断した。
保護者	父兄は納得していないところが多い。シミュレーションしてくれるとわかりやすい。
今井課長	シミュレーションしたものを用意して説明していく。
保護者	1か月前に説明会を開催し、今回資料がもうできている。なぜ、そんなに急いでいるのか。6年生の担任は夏休みまでいなかった。そういう方を急いでほしい。
今井課長	教員の配置は県教委が行っており、講師の配置についてお願いした。期間がかかり迷惑をかけて申し訳なかった。
須藤主幹	5 「アンケート結果及びQ&A」について説明
保護者	6. 質疑 中学校入学式を湊小か市民会館と書いてあるが、卒業した体育館で入学式をやるのはやめてほしい。
今井課長	保護者の皆様の意見を伺いながら考えていきます。
保護者	校舎建築期間中、天羽中で部活動をやるということだが、石が飛んできて危ない。あのグラウンドで3分の1，半分使用するのは無理だと思う。
鶴岡課長	安全用の柵がどの程度になるか確認していく。子どもたちの安全を第一に考えて、活動場所を検討していく。
保護者	湊小の子どもたちが天神山小で過ごせないのか。

今井課長	再配置計画（案）の中で説明させていただきましたが、統合までには教育課程、学校名、校章、校歌、制服、鞆、教材教具、備品、P T Aの引き継ぎや閉校記念式典の準備、記念誌など多くのことがあり、準備を含めて3年は必要であると考えている。統合しなければ同じ教室で勉強することはできないため、教室数が不足する。
保護者	天神山小の教室はいくつあるのか。
今井課長	家庭科室などを除くと、普通教室が6、特別支援学級が1である。湊小は普通教室が18ある。
保護者	モデルケースとして湊小と天神山小を先に統合できないのか。
今井課長	統合するには時間がかかり、1年では無理だと考える。
保護者	先に統合を進めてから、天羽中の建設はできないのか。中学生と小学生と一緒に生活するのはやめてほしい。
今井課長	天羽中は雨漏りがひどく校舎が古くなってきており、子どもの生活環境としては良くない。小中学生の義務教育は教育環境をしっかり整えたいと思う。中1ギャップ等で不登校になる子どももいる。9年間を小中の職員で育てていくチャンスでもあると考えている。
保護者	天羽東中の教室はどのくらいあるのか。
今井課長	普通教室は5教室である。昔は6教室あったが、1つを図書室にしている。
保護者	部活動の移動は、徒歩かランニングとあるが、子どもの荷物はすごく重い。荷物を持つての移動は無理ではないか。移動しての部活動では冬は時間が短いからやれないのでは。
須藤主幹	荷物を持ったままの移動は子どもに負担が大きい。できるだけ負担にならないようにしていく。冬の部活動に時間については、確保したいと考えている。電車やバスの時間が変更になったので、検討していく。
保護者	自転車の生徒はどうやって移動するのか。
須藤主幹	学校と協議していき、負担にならないようにしていく。
保護者	先生方の駐車場の確保はどうするのか。湊小の職員でいっぱいなのに中学校の職員が入ると子どもたちの使うスペースが減ってしまうのでは。
鶴岡課長	プール脇に空いているところがあるので、その場所を考えている。保育所が使用しているが調整していく。駐輪場の場所についても利用しやすい場所に作っていく。
保護者	部活動は増えるのか。全国大会に行ったことのある部活動がなくなったのは納得がいかない。

今井課長	統合しての教員の数や学級数は増えない。東中であって天羽中にない部活もある。そこは調整していかなければならない。
保護者	中学校の部活は何人いれば部活として成立するのか。
須藤主幹	学校の規模によって違う。天羽中は現在の生徒数から考えると部活の数は多い。
保護者	天神山小には技術棟がないといていたが、湊小にもないのでは。
須藤主幹	技術棟ではなく、図工室がない。
保護者	説明を聞いていると部活動も増えないようだが、統合をするのであれば、教員の数を増やせないのか。副担任をつけていくなどして、私立に行く人を食い止めるなど、ソフト面の説明があると良い。具体的にないのか。こういう施設も作るとか明るい話が出てくると、明るい話し合いができる。
岡根教育長	今の人数から職員が決まってくる。夢のある話をしてほしいということだが、人数が急激に減っている。一定の人数を保つということから計画している。天羽中は1学年1学級になる可能性もある。人数が少なくなることからの提案であることをご理解いただきたい。
能城部長	7. 閉会の言葉